

Y03a **地域公開天文台と連携して行う理工系学生を対象とした天体観測実習の報告
-愛媛大学宇宙進化研究センターと久万高原天体観測館の取り組み-**

鈴木悠太, 栗木久光, 近藤光志, 松岡良樹 (愛媛大学), 重藤遼太郎 (久万高原天体観測館)

愛媛大学は、2007年に宇宙進化研究を総合的に行う宇宙進化研究センターを設立し、「課題挑戦プログラム宇宙科学分野」を開設している。課題挑戦プログラムでは2年生後期から、センターのスタッフが担当する「宇宙科学セミナー」を通して、天文学/宇宙物理学を学ぶことができる。本センターの設立により、愛媛大学は四国のみならず西日本地区において、天文学/宇宙物理学を体系的に学べる数少ない大学として、大きな役割を果たしている。

2017年に愛媛大学は愛媛県上浮穴郡久万高原町と連携協力協定を結び、宇宙進化研究センターは2023年より、公開天文台である久万高原天体観測館と連携して、課題挑戦プログラムの学部3年生を対象とした天体観測実習を実施している。久万高原天体観測館は、宇宙、地球、地球環境に関する知識の普及と地域文化、天文学の発展に寄与する生涯学習、自然体験の場として、1992年より公開天文台として開館し、60 cm 反射望遠鏡を設置している。そこに冷却 CCD カメラおよび測光システム (*BVR*) を装着することで、実際に科学的なデータの取得と解析が可能となっている。

本実習は天体観望に留まらず、観測データの解析、討論、成果発表を通じ、天体现象を解明するという、研究の過程を体験させることを重視している。例年 10-20 名の学生が参加し、現段階では、散開星団を観測・校正・測光解析をすることで HR 図を作成し、転向点から地球からの距離と年齢を推定させる実習を組んでいる。本講演では、本観測実習の概要および実施後の反省点などについて詳細に報告する。